

《2023/JBS創立50周年記念例会/ブラームス生誕190年》

2023 is the 50th anniversary of JBS foundation. The 190th birth anniversary of Brahms.

《ブラームス/ピアノトリオ1番》記念演奏

- プレトーク / ブラームスとヴァイオリン、チェロ、ピアノについて
- ブラームス / ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ニ短調 Op.108
- ブラームス / チェロ・ソナタ 第2番 ヘ長調 Op.99
- ブラームス / 3つの間奏曲 Op.117
- ブラームス / ピアノ三重奏曲 第1番 ロ長調 改訂版 Op.8

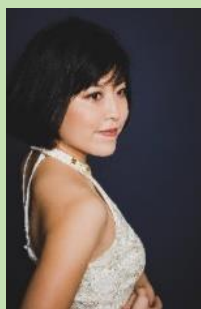
- Vn. 小川恭子 (桐朋学園大学院修了後、ウィーン国立音大留学。2015年音コン優勝。2022年スウェーデン国際デュオコンクール優勝。2021年秋山和慶氏指揮、桐朋オケストラとメンデルスゾーンVn協奏曲を演奏、桐朋宗次H)
- Vc. 水野優也 (桐朋学園大SD修了。2020年音コン優勝。リスト・フェルツ音大にてミクロシュ・ペレニ氏に師事。2022年よりザルツブルク・モーツァルテウム大学にて、クレメンス・ハーゲン氏に師事)
- P. 石井楓子 (桐朋学園大卒。ケルン音大に学び、バーゼル音楽院修了。2013年音コン優勝。2021年ドイツ・テトモット第2回ブラームス国際コンクール優勝。2022年ギリシア国際ピアノコンクール優勝。バーゼル在住)
- プレトークと監修 西原稔 (JBS顧問 桐朋学園大学名誉教授)



Vn. 小川恭子



Vc. 水野優也



P. 石井楓子



解説 西原 稔

～ブラームス/ピアノトリオ第1番ロ長調 Op. 8 はなぜ記念曲か?～

1974/3/24 創立2年目のNo. 2 例会は横浜イギリス館で「オグラームス」と作曲家小倉朗の講演と桐朋の若手 Vn. 永田邦子, Vc. 藤原真理, P. 鹿野のり子による《ピアノトリオ1番》演奏でした 写真②。当日桐朋の齋藤秀雄先生が入院中の病院を抜け出して指導に来聴されたのは驚きでした。慌ててシャッターを押しました①。演奏後拍手は鳴りやまず大成功。その後、丘を下りて中華街の打上会場に入ると、何と齋藤先生が座られていたのでまた驚きました③。先生はさらに2次会のレストランまで参加され何か強い思いが伝わってきたことを覚えています。そして2ヶ月後の5月には日本初の室内楽コンクール(12月)に向けP. 弘中孝, Vn. 久保陽子, Va. 店村真積に3月のVn. 永田邦子, Vc. 藤原真理の2人を加えて桐五重奏団を結成される。しかし残念ながらコンクールの結果を知ることなく9月18日に癌で遂にその生涯を閉じられました(桐五重奏団HPより)。1974年3月のイギリス館での「ブラームス/ピアノトリオ1番の例会」から僅か6ヶ月後のことでした。(JBS-HP 7-417 1974/2014より)



その後、丘を下りて中華街の打上会場に入ると、何と齋藤先生が座られていたのでまた驚きました③。先生はさらに2次会のレストランまで参加され何か強い思いが伝わってきたことを覚えています。そして2ヶ月後の5月には日本初の室内楽コンクール(12月)に向けP. 弘中孝, Vn. 久保陽子, Va. 店村真積に3月のVn. 永田邦子, Vc. 藤原真理の2人を加えて桐五重奏団を結成される。しかし残念ながらコンクールの結果を知ることなく9月18日に癌で遂にその生涯を閉じられました(桐五重奏団HPより)。1974年3月のイギリス館での「ブラームス/ピアノトリオ1番の例会」から僅か6ヶ月後のことでした。(JBS-HP 7-417 1974/2014より)

2023年4月16日(日) 2pm

チケット 一般¥5500 会員¥5000 学生¥3000

会場 駒場ピアノサロン(ムジク・ピアフォーヌ) 70席

京王井の頭線、駒場東大前駅・西口改札下車徒歩5分

■お願い 新型コロナ感染対策の継続にご協力をお願いいたします。

■後援 ハンブルク国際ブラームス協会、米国ブラームス協会

■お問合せ 日本ブラームス協会(事務局) Tel/Fax 050-3648-0002

[jbs1973\(a\)jcom.home.ne.jp](mailto:jbs1973(a)jcom.home.ne.jp)



●ヴァイオリン 小川 恭子 (おがわ きょうこ)

第 84 回日本音楽コンクール第 1 位、岩谷賞(聴衆賞)、全部門で最も印象的な演奏に贈られる増沢賞他全ての副賞(レウカディア賞、黒柳賞、鷲見賞、E.ナカミチ賞)受賞。ロシアで行われたノヴォシビルスク国際コンクールをはじめ、スウェーデン国際デュオコンクール、日本モーツァルト音楽コンクール等優勝、ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクールグランプリ、シュポア国際コンクール第 2 位他受賞多数。ソリストとして秋山和慶、高関健、大友直人各氏等の指揮のもと東響、東フィル、ワイマール州立歌劇場管など国内外のオーケストラと共演。ソロ及び室内楽で各地の音楽祭へ出演、リサイタルを行う。ドイツで演奏した際には英国音楽誌「The Strad」より好評を得た。桐朋学園大学を首席で卒業後、修士修了。辰巳明子氏に師事。在学中推薦を得て英国王立音楽院へ短期留学し Georgy Pauk 氏に、スイスのアカデミーで Zakhar Bron 氏より指導を受けた。2017、18 年度ロームミュージックファンデーション奨学生。(公財)明治安田 QOL 文化財団海外音楽研修生としてウィーン国立音楽大学に留学し、Lothar Strauß 氏に師事。文京楽器の協力によりイギリスの Bear's International Society から G. Cappa を貸与されている。 ※JBS 出演記録 2011 年旧前田侯爵邸フルッシュコンサート(第 1 回)、2014 年ヤマ銀座店共催例会「P 仲道郁代と若い音楽家たち」にてピアノ四重奏曲 1 番、2016 年ヤマ銀座店共催例会「Vn 小川恭子 2015 年 No84 音コン優勝記念」、2020 年冬例会「ブラームス 2 大協奏曲」にてヴァイオリン協奏曲を演奏。P 伴奏版・五十嵐薫子。

●チェロ 水野 優也 (みずの ゆうや)

第 89 回日本音楽コンクールチェロ部門第 1 位及び岩谷賞(聴衆賞)、黒柳賞、徳永賞、全部門を通じて最も印象的な演奏に対し贈られる増沢賞を受賞。第 13 回東京音楽コンクール弦楽部門第 1 位及び聴衆賞、第 23 回コンセルマロニエ 21 弦楽器部門第 1 位、第 31 回青山音楽賞新人賞など多数受賞。ソリストとして東響、東京フィル、日本フィル、読響、大阪響などと共演。シャネル・ピグマリオン・デイズ 2020/2021 参加アーティスト。ピアニスト反田恭平氏率いるジャパン・ナショナル・オーケストラ メンバー。江副記念リクルート財団、ロームミュージックファンデーション、各奨学生。特待生として桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コース修了。ハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽大学にてミクローシュ・ペレーニ氏に師事。現在、オーストリア国立ザルツブルク・モーツァルトウム大学にて、クレメンス・ハーゲン氏に師事。 ※JBS 出演記録 2014 年旧前田侯爵邸フルッシュコンサート(第 4 回)でメンデルズバハのピアノトリオ 1 番、2016 年フルッシュコンサート(第 6 回)ではブラームスのピアノトリオ 1 番を演奏。

●ピアノ 石井 楓子 (いしい ふうこ)

2022 年ノルウェーにおいて第 17 回グリーグ国際ピアノコンクール優勝。本選ではローレンス・フォスター氏の指揮でベルゲン交響楽団とグリーグのピアノ協奏曲を演奏。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学卒業。続いてケルン音楽大学で学び、バーゼル音楽院修士課程・演奏家課程を最高点で卒業。その他の受賞歴に第 82 回日本音楽コンクールピアノ部門第 1 位、2019 年 ドイツ・デトモルトにおける第 2 回ブラームス国際ピアノコンクール第 1 位などがある。これまでにバーゼル交響楽団、デトモルト州立劇場管弦楽団、ベルゲン交響楽団、デトモルト室内管弦楽団、アルゴフィアフィル、ブラショフフィル、ヤナーチェクフィル、また国内では N 響、読響、京響、東響、日本フィル、新日本フィル、日本センチュリー、神奈川フィルをはじめとする多くのオーケストラと共演。秋山和慶、高関健、下野竜也、沼尻竜典、尾高忠明、曾我大介、阪哲郎、川瀬賢太郎、松尾葉子、現田茂夫ら各氏の指揮者と共演、コンチェルトレパートリーはバッハから三善晃、メシアンに至るまで多岐にわたる。2014 年大和市芸術文化未来賞受賞。2019 年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修員。2021 年ドイツ・ブリュートナーによるブラームス作品の CD をリリース。これまでにピアノを江崎光世、加藤伸佳、村上 弦一郎、クラウディオ・マルティネス・メナーの各氏に師事。2023 年はベルゲン国際フェスティバル、ノルウェーのクリスティアンサンフィルハーモニー、クラクフフィルハーモニーのソリストとして招かれている他、室内楽奏者としても活躍を続けている。スイス・バーゼル在住。 ※JBS 出演記録 2014 年旧前田侯爵邸フルッシュコンサート(第 4 回)にてピアノソナタ 3 番、2021 年ヤマ銀座店共催例会にてクアルテットインテグラとピアノ五重奏曲を演奏。

●解説 西原 稔 (にしはら みのる) JBS 顧問

東京藝術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学名誉教授。同大学特別招聘教授。18、19 世紀を主対象に音楽社会史や音楽思想史を専攻。著書に「音楽史ほんとうの話」「作曲家◎人と作品 ブラームス」「新編 音楽家の社会史」「シューマン 全ピアノ作品の研究」上下巻(第 26 回ミュージック・ペンクラブ賞受賞)、2020 年に「《ドイツレクイエム》への道」(以上 音楽之友社)のほか「新版 クラシックでわかる世界史」「ピアノ大陸ヨーロッパ」「ピアノの誕生」「クラシック 名曲を生んだ恋物語」「楽聖ベートーヴェンの誕生」「世界史でたどる名作オペラ」「ピアノの誕生・増補版」、また共著・共訳書に「ルル」「金色のソナタ」「西洋の音楽と社会⑦ロマン主義と革命の時代」「オックスフォードオペラ大事典」などがある。日本ブラームス協会(JBS)では 2002 年 10 月 1 日より顧問として企画運営のアドバイスをすると共にブラームス研究の成果を「レクチャーコンサート」、年会誌『赤いはりねずみ』に発表している。

企画・制作 JBS 日本ブラームス協会(顧問/西原、会長/羽木、幹事/佐藤、重成、杉田、山田)